

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科1年制	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖生理学 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2)
対象学年	昼間部1年	学期及び曜時間	前期 火曜4限	教室名	第2合同校舎702教室
担当教員	左 明				
実務経験とその関連資格	1986年医科大学卒業後(医学学士)、医科高等専門学校で教員として9年間勤務、統計学や栄養学などの科目を担当。 2000年、神戸大学医学研究科で医学博士号を取得。 2003年から3年間、受託研究員として、大阪大学大学院歯学研究科に在籍、コメディカルの解剖教育に役立つ教育方法を確立 医療系専門学校の専任講師として、看護学科・理学療法士学科・作業療法士学科・視能訓練士学科・言語聴覚士学科・柔道整復師学科・鍼灸師学科などの解剖学・解剖生理学を担当して21年目 日本解剖学会会員 「早わかり解剖学ハンドブック」など医学の専門書を6冊ほど監修や執筆(単著・共著)				
《授業科目における学習内容》	1、人体を構成する細胞、組織、器官・性決定を述べる事ができる。遺伝子と遺伝子疾患を説明できる。 2、人体を構成する10個の器官系のうち、運動器系・循環器系・消化器系・呼吸器系・感覚器の構造と機能を説明できる。				
《成績評価の方法と基準》	1、期末試験:80%。小テスト:20%。 2、1に平常点を加味することとする。				
《使用教材(教科書)及び参考図書》	目でみるからだのメカニズム 堀 章著 医学書院 早わかり生理学ハンドブック 孫 明洲著 ナツメ社				
《授業外における学習方法》	教科書と参考書をよく読み、積極的な予習・復習に努めること。固有名詞については声を出して、耳で覚えること。 わからないところをそのままにしないで、友達や、先生に質問して解決すること。積極的に模型を活用し、様々な構造物をイメージすること。				
《履修に当たっての留意点》	興味を持って、積極的に授業に参加すること。 放課後、友達と一緒に勉強すること。				
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	解剖学とは、生理学とは何かを理解できる。内部環境とは、外部環境とは何かを理解し、内部環境と外部環境の関係、内部環境の恒常性とその調節を説明できる。体液の組成と移動を説明できる。	人体と看護生理学ハンドブック	教科書を読むこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。	
	各コマにおける授業予定	解剖学とは、生理学とは、内部環境と外部環境、内部環境の恒常性、内部環境恒常性の調節機構			
第2回	授業を通じての到達目標	細胞の構造と機能を説明できる。 染色体の数、DNAの構造、タンパク質の合成過程を略説できる。	目でみるからだのメカニズム生理学ハンドブック	教科書を読むこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。	
	各コマにおける授業予定	細胞の構造と機能			
第3回	授業を通じての到達目標	細胞→組織→器官→器官系→個体の成り立ちを理解し、4大組織の構成と機能を説明できる。	人体と看護目でみるからだのメカニズム	教科書を読むこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。	
	各コマにおける授業予定	組織:上皮組織・支持組織・筋組織(簡単に紹介)・神経組織(解剖生理学実習に譲る)			
第4回	授業を通じての到達目標	性決定と性染色体を説明できる。 遺伝性疾患とは何かを理解し、遺伝子疾患の分類と代表的な病名を説明できる。	配布物	教科書を読むこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。	
	各コマにおける授業予定	ヒトの遺伝子・遺伝・遺伝性疾患			
第5回	授業を通じての到達目標	骨の構造と機能を説明できる。 関節の基本構造を説明できる。	目でみるからだのメカニズム	教科書を読むこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。	
	各コマにおける授業予定	骨の構造と機能、関節の構造と機能			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	筋肉の起始と停止、筋肉の構造、筋収縮の滑走説、筋収縮のメカニズムを説明できる。	目でみるからだのメカニズム	教科書を読むこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
	各コマにおける授業予定	骨格筋		
第7回	授業を通じての到達目標	主な骨の名前と関節名・筋名は授業までに自主学习、授業は模型での名称確認。眼窩を構成する骨を説明できる。 授業の最後に口頭試問を行い、それをクリアできる。	目でみるからだのメカニズム 模型	教科書を読むこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
	各コマにおける授業予定	主な骨格・骨格筋の確認		
第8回	授業を通じての到達目標	模型にて、各内臓の名前や、位置関係、形状などを確認できる。 (脳、心臓、肺、腎臓、目、耳の模型などにも触れる)	目でみるからだのメカニズム 模型	教科書を読むこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
	各コマにおける授業予定	内臓・目・耳・脳の確認		
第9回	授業を通じての到達目標	血管の構造、心臓の構造と機能、心臓の栄養血管、刺激伝導系を説明できる。心臓によく見られる病気を説明できる。	目でみるからだのメカニズム 模型	教科書を読むこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
	各コマにおける授業予定	血管の構造と種類、心臓の構造と機能		
第10回	授業を通じての到達目標	全身の血管とリンパ管系を略説できる。	目でみるからだのメカニズム	教科書を読むこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
	各コマにおける授業予定	全身の動脈と全身の静脈 全身のリンパ、リンパ組織のしくみ		
第11回	授業を通じての到達目標	消化管各部の形態・機能・消化管によく見られる病気を略説できる。	目でみるからだのメカニズム	教科書を読むこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
	各コマにおける授業予定	消化器系(一) 消化管		
第12回	授業を通じての到達目標	各消化腺の形態・機能・消化腺によく見られる病気、腹膜の解剖・機能・腹膜の病気を略説できる。	目でみるからだのメカニズム	教科書を読むこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
	各コマにおける授業予定	消化器系(二) 消化腺と腹膜		
第13回	授業を通じての到達目標	呼吸器系を構成する器官、気道各部の形態・機能・気道によく見られる病気を略説できる。	目でみるからだのメカニズム	教科書を読むこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
	各コマにおける授業予定	呼吸器系(一) 気道		
第14回	授業を通じての到達目標	肺臓の形態と機能、呼吸運動、肺機能検査、胸膜の働き、肺と胸膜によく見られる病気を略説できる。	目でみるからだのメカニズム	教科書を読むこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
	各コマにおける授業予定	呼吸器系(二) 肺、胸膜		
第15回	授業を通じての到達目標	耳の構造と機能、皮膚の構造と機能を説明できる。	目でみるからだのメカニズム 生理学ハンドブック	教科書を読むこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
	各コマにおける授業予定	感覚器系 平衡聴覚器 皮膚など		